

## 2022年8月期 決算短信(日本基準)(連結)

2022年10月11日

上場会社名 旭化学工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 7928 URL <https://www.asahikagakukogyo.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 杉浦 武

問合せ先責任者 (役職名) 総務部部長 (氏名) 松尾 陽介

TEL 0566-92-4181

定時株主総会開催予定日 2022年11月24日

配当支払開始予定日

2022年11月25日

有価証券報告書提出予定日 2022年11月25日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2022年8月期の連結業績(2021年9月1日～2022年8月31日)

## (1) 連結経営成績

(％表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年8月期	10,720	3.0	527	34.6	662	14.2	389	29.5
2021年8月期	10,409	35.8	806	755.5	772	432.1	552	

(注) 包括利益 2022年8月期 821百万円 (0.5%) 2021年8月期 816百万円 ( %)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2022年8月期	121.24		7.9	10.0	4.9
2021年8月期	171.18		13.0	13.3	7.7

(参考) 持分法投資損益 2022年8月期 百万円 2021年8月期 百万円

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年8月期	6,846	5,259	76.8	1,629.33
2021年8月期	6,435	4,621	71.8	1,431.91

(参考) 自己資本 2022年8月期 5,259百万円 2021年8月期 4,621百万円

## (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2022年8月期	253	323	184	1,255
2021年8月期	692	668	44	1,345

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2021年8月期		10.00		25.00	35.00	112	20.4	2.7
2022年8月期		10.00		18.00	28.00	88	23.1	1.8
2023年8月期(予想)		10.00		16.00	26.00		20.3	

## 3. 2023年8月期の連結業績予想(2022年9月1日～2023年8月31日)

(％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,400	4.8	290	21.6	300	23.7	210	18.6	67.14
通期	10,800	0.7	570	8.2	590	10.9	400	2.8	127.88

注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
 新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
 以外の会計方針の変更 : 無  
 会計上の見積りの変更 : 無  
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年8月期	3,896,000 株	2021年8月期	3,896,000 株
期末自己株式数	2022年8月期	768,228 株	2021年8月期	668,208 株
期中平均株式数	2022年8月期	3,212,395 株	2021年8月期	3,227,853 株

(参考)個別業績の概要

2022年8月期の個別業績(2021年9月1日～2022年8月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年8月期	3,687	17.7	44	128.6	570	255.6	488	172.6
2021年8月期	4,480	16.1	154		160	170.0	179	237.2

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2022年8月期	152.02	
2021年8月期	55.49	

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年8月期	3,642	3,244	89.1	1,037.28
2021年8月期	3,513	2,986	85.0	925.14

(参考) 自己資本 2022年8月期 3,244百万円 2021年8月期 2,986百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概要 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(会計方針の変更) .....	12
(セグメント情報) .....	13
(1株当たり情報) .....	16
(重要な後発事象) .....	16

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の再拡大、ウクライナ情勢による資源価格や原油価格の高騰などにより、依然として先行き不透明な状態が続いております。

このような状況の中、主な販売先であります電動工具業界、自動車業界からの受注は、新型コロナウイルス感染拡大等に伴う部品供給不足による生産計画の見直しにより共に減少しました。

この結果、当連結会計年度の売上高は受注が減少しましたが、為替の影響があり107億20百万円（前期比3.0%増）となりました。為替の影響が大きく予想レートより23%円安元高となり、円換算した為替の売上高影響額は前期比11億円増加しました。営業利益はエネルギー価格の高騰による経費の増加や、中国工場の上海ロックダウンによる工場非稼働の影響により5億27百万円（同34.6%減）、経常利益は6億62百万円（同14.2%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は3億89百万円（同29.5%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ①日本

国内は、電動工具向け、自動車向けの受注が新型コロナウイルス感染拡大等に伴う部品供給不足による生産計画の見直しにより共に減少し、売上高は36億87百万円（前期比17.7%減）、営業損失は44百万円（前期は営業利益1億54百万円）となりました。

#### ②中国

中国は、上海ロックダウンの影響により2022年4月に工場が非稼働となり受注が減少しましたが為替の影響により、売上高は63億87百万円（前期比12.8%増）、営業利益は工場非稼働時の固定費が利益を圧迫したため6億11百万円（同11.4%減）となりました。

#### ③タイ

タイは、受注が増加し、売上高は7億94百万円（同39.5%増）、営業損失は25百万円（前期は営業損失43百万円）となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

#### 資産、負債及び純資産の状況

資産合計は、前連結会計年度末と比べ4億10百万円増加し68億46百万円（前連結会計年度末比6.4%増）となりました。これは主に長期預金が2億10百万円減少しましたが、現金及び預金が1億95百万円、たな卸資産が1億19百万円、有形固定資産が3億円それぞれ増加したことによるものであります。

負債合計は前連結会計年度末と比べ2億26百万円減少し15億87百万円（前連結会計年度末比12.5%減）となりました。これは主に買掛金が1億61百万円、その他流動負債が42百万円それぞれ減少したことによるものであります。

純資産の合計は前連結会計年度末と比べ6億37百万円増加し52億59百万円（前連結会計年度末比13.8%増）となりました。これは主に利益剰余金が2億76百万円、為替換算調整勘定が4億77百万円それぞれ増加したことによるものであります。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前期比90百万円減の12億55百万円となりました。また、当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

## ①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は2億53百万円となりました。これは主に仕入債務の減少額が3億23百万円、たな卸資産の増加額48百万円、その他流動資産の増加額48百万円、法人税等の支払額2億53百万円それぞれ計上されましたが、税金等調整前当期純利益が6億55百万円、減価償却費が2億52百万円、売上債権の減少額が1億71百万円それぞれ計上されたことによるものであります。

## ②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は、3億23百万円となりました。支出の主な要因は、定期預金の純収入が1億1百万円、有形固定資産の取得による支出4億29百万円それぞれ計上されたことによるものであります。

## ③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動により使用した資金は1億84百万円となりました。支出の主な要因は、配当金の支払額1億12百万円によるものです。

## (参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2018年8月期	2019年8月期	2020年8月期	2021年8月期	2022年8月期
自己資本比率 (%)	75.9	74.2	74.2	71.8	76.8
時価ベースの自己資本比率 (%)	26.4	25.6	22.1	53.5	32.9
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	625	360	1,032	3,539	3,471

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注) 1. いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

2. 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

3. キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

## (4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、ウクライナ危機や原油高によるエネルギー価格の上昇、自動車関連取引先からの減産など、当社にとって追い風になる要素は少なく、今後しばらくは厳しい状況が続くものと予想しております。特に原油高によって電力費の上昇や、購入部品の値上げなど過去に例をみないほどの価格上昇があり、急速に会社の利益を圧迫し始めております。

このような状況の中、当社では人材の教育など未来に向けた取り組みに注力し、人的スキルの向上、生産工程の見直しを図り、より一層人にやさしい工場づくりを目指してまいります。

環境負荷低減の取り組みとしましては、昨年からの取り組みではありますが、今後購入する社用車は内燃機関以外の車両を優先して購入することとしております。

昨年は電気自動車の購入、今年には水素自動車を購入し、環境負荷低減を目指しております。また、電気代も弊社にとって重い負担になっておりますので、太陽光パネルを積極的に設置し、発電した電気は電気自動車へ充電し、余った電力は会社の照明等に活用するなど、サステナビリティに対応できる会社を目指します。今後も環境負荷を少しでも減らし、社会に貢献できる会社づくりを目指してまいります。

次期の見通しにつきましては、売上高は108億円（前期比0.7%増）、営業利益は5億70百万円（前期比8.2%減）、経常利益は5億90百万円（前期比10.9%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は4億円（前期比2.8%増）を予想しております。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年8月31日)	当連結会計年度 (2022年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,452,800	1,647,951
受取手形及び売掛金	1,118,325	1,080,600
商品及び製品	253,487	257,417
仕掛品	158,067	210,941
原材料及び貯蔵品	206,292	268,763
その他	233,367	346,609
貸倒引当金	△520	△470
流動資産合計	3,421,821	3,811,813
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	502,118	532,435
機械装置及び運搬具(純額)	460,912	741,994
土地	882,087	902,744
その他(純額)	107,041	75,721
有形固定資産合計	1,952,160	2,252,896
無形固定資産	11,707	14,864
投資その他の資産		
投資有価証券	135,264	75,909
繰延税金資産	15,818	13,665
長期預金	821,520	610,548
その他	80,501	69,966
貸倒引当金	△3,059	△3,059
投資その他の資産合計	1,050,045	767,030
固定資産合計	3,013,912	3,034,791
資産合計	6,435,733	6,846,605
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,124,757	963,375
未払法人税等	87,695	71,477
賞与引当金	52,711	40,028
役員賞与引当金	13,500	9,050
その他	317,759	275,326
流動負債合計	1,596,423	1,359,258
固定負債		
繰延税金負債	164,342	175,711
役員退職慰労引当金	46,666	44,136
退職給付に係る負債	6,142	8,400
その他	263	—
固定負債合計	217,415	228,248
負債合計	1,813,838	1,587,506

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年8月31日)	当連結会計年度 (2022年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	671,787	671,787
資本剰余金	729,938	729,938
利益剰余金	2,830,316	3,106,822
自己株式	△298,957	△369,973
株主資本合計	3,933,085	4,138,574
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	65,857	19,728
為替換算調整勘定	622,952	1,100,796
その他の包括利益累計額合計	688,809	1,120,524
純資産合計	4,621,894	5,259,099
負債純資産合計	6,435,733	6,846,605



(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)	当連結会計年度 (自 2021年9月1日 至 2022年8月31日)
売上高	10,409,489	10,720,941
売上原価	8,894,077	9,413,839
売上総利益	1,515,412	1,307,101
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	150,651	154,862
役員報酬	67,170	59,249
給与・賞与	166,477	199,315
賞与引当金繰入額	8,057	6,631
役員賞与引当金繰入額	13,500	9,050
役員退職慰労引当金繰入額	3,370	3,009
退職給付費用	2,435	2,524
厚生費	83,260	106,758
貸倒引当金繰入額	10	△50
その他	214,293	238,655
販売費及び一般管理費合計	709,226	780,006
営業利益	806,186	527,095
営業外収益		
受取利息	28,615	45,178
受取配当金	1,441	1,595
補助金収入	4,606	17,962
為替差益	—	59,989
その他	4,284	10,913
営業外収益合計	38,947	135,639
営業外費用		
支払利息	195	72
為替差損	72,522	—
その他	256	506
営業外費用合計	72,975	579
経常利益	772,157	662,154
特別利益		
固定資産売却益	3,653	2,299
特別利益合計	3,653	2,299
特別損失		
固定資産売却損	1,075	2,996
固定資産除却損	1,345	1,609
減損損失	8,903	4,169
特別損失合計	11,324	8,775
税金等調整前当期純利益	764,487	655,678
法人税、住民税及び事業税	191,825	232,815
法人税等調整額	20,103	33,384
法人税等合計	211,929	266,200
当期純利益	552,558	389,477
親会社株主に帰属する当期純利益	552,558	389,477

## (連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)	当連結会計年度 (自 2021年9月1日 至 2022年8月31日)
当期純利益	552,558	389,477
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	21,007	△46,128
為替換算調整勘定	243,371	477,843
その他の包括利益合計	264,379	431,715
包括利益	816,937	821,193
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	816,937	821,193
非支配株主に係る包括利益	—	—

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自2020年9月1日至2021年8月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	671,787	729,938	2,319,721	△298,844	3,422,602
当期変動額					
剰余金の配当			△41,962		△41,962
親会社株主に帰属する当期純利益			552,558		552,558
自己株式の取得				△112	△112
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	510,595	△112	510,482
当期末残高	671,787	729,938	2,830,316	△298,957	3,933,085

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	44,849	379,580	424,430	3,847,033
当期変動額				
剰余金の配当				△41,962
親会社株主に帰属する当期純利益				552,558
自己株式の取得				△112
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	21,007	243,371	264,379	264,379
当期変動額合計	21,007	243,371	264,379	774,861
当期末残高	65,857	622,952	688,809	4,621,894

当連結会計年度(自2021年9月1日至2022年8月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	671,787	729,938	2,830,316	△298,957	3,933,085
当期変動額					
剰余金の配当			△112,972		△112,972
親会社株主に帰属する当期純利益			389,477		389,477
自己株式の取得				△71,016	△71,016
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	276,505	△71,016	205,489
当期末残高	671,787	729,938	3,106,822	△369,973	4,138,574

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	65,857	622,952	688,809	4,621,894
当期変動額				
剰余金の配当				△112,972
親会社株主に帰属する当期純利益				389,477
自己株式の取得				△71,016
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△46,128	477,843	431,715	431,715
当期変動額合計	△46,128	477,843	431,715	637,204
当期末残高	19,728	1,100,796	1,120,524	5,259,099

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)	当連結会計年度 (自 2021年9月1日 至 2022年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	764,487	655,678
減価償却費	216,175	252,864
賞与引当金の増減額 (△は減少)	24,263	△22,018
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	3,370	△2,530
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	6,142	1,525
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	10	△50
受取利息及び受取配当金	△30,056	△46,773
減損損失	8,903	4,169
支払利息	195	72
為替差損益 (△は益)	△172	△25,457
有形固定資産売却損益 (△は益)	△2,577	697
有形固定資産除却損	1,345	1,609
売上債権の増減額 (△は増加)	△269,126	171,833
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△140,139	△48,893
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△51,480	△48,488
仕入債務の増減額 (△は減少)	345,357	△323,802
未払費用の増減額 (△は減少)	5,843	2,078
未払消費税等の増減額 (△は減少)	7,517	△42,243
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△60,775	△43,352
その他	—	△229
小計	829,284	486,691
利息及び配当金の受取額	22,033	20,248
利息の支払額	△195	△72
法人税等の支払額	△158,977	△253,494
営業活動によるキャッシュ・フロー	692,144	253,372
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△706,396	△26,371
定期預金の払戻による収入	329,491	127,676
有形固定資産の取得による支出	△290,081	△429,249
有形固定資産の売却による収入	9,862	12,443
無形固定資産の取得による支出	△3,383	△6,555
投資有価証券の取得による支出	△6,539	△6,640
その他の支出	△1,359	△5,216
その他の収入	13	10,345
投資活動によるキャッシュ・フロー	△668,392	△323,569
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△41,817	△112,736
自己株式の取得による支出	△112	△71,016
その他	△2,895	△695
財務活動によるキャッシュ・フロー	△44,825	△184,448
現金及び現金同等物に係る換算差額	108,306	164,467
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	87,233	△90,178
現金及び現金同等物の期首残高	1,258,195	1,345,429
現金及び現金同等物の期末残高	1,345,429	1,255,251

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当連結会計年度の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

なお、「収益認識に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第30号 2021年3月26日)第98項に定める代替的な取扱いを適用し、商品又は製品の国内の販売において、出荷時から当該商品又は製品の支配が顧客に移転される時までの期間が通常の間である場合には、出荷時に収益を認識しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当連結会計年度の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当連結会計年度の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当連結会計年度の損益に与える影響はありません。また、利益剰余金の当期首残高への影響もありません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)当連結会計年度の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。これによる、連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## 1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、プラスチック製品の成形加工事業の単一事業であり、国内においては当社が、海外においては中国を旭日塑料制品(昆山)有限公司が、タイをAsahi Plus Co.,Ltd.がそれぞれ担当しております。

したがって、当社グループは、生産・販売体制を基礎とした地域別のセグメントから構成されており、「日本」、「中国」及び「タイ」の3つを報告セグメントとしております。各報告セグメントでは、電動工具部品、自動車部品及びその他のプラスチック製品を生産・販売しております。

## 2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部利益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

## 3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自2020年9月1日 至2021年8月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	連結財務諸表計 上額(注2)
	日本	中国	タイ	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,480,068	5,360,159	569,261	10,409,489	—	10,409,489
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	301,522	—	301,522	△301,522	—
計	4,480,068	5,661,682	569,261	10,711,012	△301,522	10,409,489
セグメント利益又は損失(△)	154,795	689,894	△43,338	801,351	4,834	806,186
セグメント資産	3,513,036	3,664,450	444,437	7,621,923	△1,186,190	6,435,733
その他の項目						
減価償却費	127,984	86,919	1,271	216,175	—	216,175
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	196,527	94,394	5,984	296,905	—	296,905

(注) 1. 調整額は、主にセグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度（自2021年9月1日 至2022年8月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	連結財務諸表計 上額(注2)
	日本	中国	タイ	計		
売上高						
製品売上	3,471,353	5,698,919	718,366	9,888,639	—	9,888,639
金型売上	216,330	539,940	76,031	832,301	—	832,301
顧客との契約から生じる収益	3,687,683	6,238,860	794,397	10,720,941	—	10,720,941
その他収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	3,687,683	6,238,860	794,397	10,720,941	—	10,720,941
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	149,104	—	149,104	△149,104	—
計	3,687,683	6,387,964	794,397	10,870,045	△149,104	10,720,941
セグメント利益又は損失(△)	△44,295	611,340	△25,544	541,500	△14,405	527,095
セグメント資産	3,645,217	3,881,926	551,815	8,078,958	△1,232,352	6,846,605
その他の項目						
減価償却費	145,092	107,402	329	252,824	—	252,824
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	222,845	218,029	4,169	445,044	—	445,044

(注) 1. 調整額は、主にセグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 【関連情報】

前連結会計年度（自2020年9月1日 至2021年8月31日）

## 1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

## 2. 地域ごとの情報

## (1) 売上高

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

## (2) 有形固定資産

(単位：千円)

日本	中国	タイ	合計
1,286,951	533,437	131,771	1,952,160

## 3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
牧田(中国)有限公司	2,910,880	中国
株式会社イノアックコーポレーション	2,446,817	日本
牧田(昆山)有限公司	2,431,425	中国
株式会社マキタ	1,358,738	日本



当連結会計年度（自2021年9月1日 至2022年8月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

(単位：千円)

日 本	中 国	タ イ	合 計
1,364,703	741,085	147,107	2,252,896

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
牧田（中国）有限公司	3,730,445	中国
牧田（昆山）有限公司	2,483,095	中国
株式会社イノアックコーポレーション	1,848,132	日本
株式会社マキタ	1,132,183	日本

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自2020年9月1日 至2021年8月31日）

(単位：千円)

	日 本	中 国	タ イ	合 計
減損損失	—	—	8,903	8,903

当連結会計年度（自2021年9月1日 至2022年8月31日）

(単位：千円)

	日 本	中 国	タ イ	合 計
減損損失	—	—	4,169	4,169

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自2020年9月1日 至2021年8月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自2021年9月1日 至2022年8月31日）

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度（自2020年9月1日 至2021年8月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自2021年9月1日 至2022年8月31日）

該当事項はありません。

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)	当連結会計年度 (自 2021年9月1日 至 2022年8月31日)
1株当たり純資産額	1,431円91銭	1,629円33銭
1株当たり当期純利益金額	171円18銭	121円24銭

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。  
2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)	当連結会計年度 (自 2021年9月1日 至 2022年8月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益金額(千円)	552,558	389,447
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益金額(千円)	552,558	389,447
普通株式の期中平均株式数(千株)	3,227	3,212

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。